ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									

シートNO.

ボーリング名	B-1(左岸)	調査位置				北　緯	36 ° 35 ' 29.0000 "
発 注 機 関	栃木県鹿沼土木事務所			調査期間	2008-02-04 ～ 2008-02-14	東　経	139 ° 38 ' 33.0000 "
調 査 業 者 名		主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者	ボーリング責任者
孔 口 標 高	228.09 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °
総 掘 進 長	11.00 m	使用機種	試 錐 機		ハンマー落下用具		
			エンジン		ポ ン プ		

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) 測定月日
	227.44	0.65	0.65		有機質シルト (MO)	黒褐			含水中位。 全体的に未分解の植物根混入。		
1	226.54	0.90	1.55		礫混じりシルト (M-G)	黒褐			含水中位。 1.35m以浅φ30～60mmの角礫点在。 1.35m以深φ100～140mmの角礫点在。		
2 3 4	222.94	3.60	5.15		砂礫 (GS)	暗灰			含水中位。 φ2～60mmの亜角～亜円礫主体。 マトリックスは中粗砂。 3.00mにコア長10cmの玉石点在。 3.90mにコア長35cmのチャ-トの転石点在。		02/02 3.77
5	222.09	0.85	6.00		強風化頁岩 (Sh)	黄褐灰			強風化質。 コアは粘土状、砂状で採取される。		
6 7 8	219.09	3.00	9.00		頁岩 (Sh)	黒灰			コアは砂状～細角礫状で採取される。 亀裂は割れ目は細状。		
9 10 11	217.09	2.00	11.00		砂岩・頁岩互層 (Ss/Sh)	暗灰			砂岩・頁岩互層状。 コアは主として角礫状で採取される。 岩片はほとんど風化・変質していない。 変質鉱物は肉眼で認められない。		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0-10	10-20	20-30	打撃回数／貫入量 (cm)	N 値
1.15	2 / 17	1 / 13		3 / 30	3
1.45					
2.15	3	3	5	11 / 30	11
2.45					
3.15	17	20	13 / 5	50 / 25	>50
3.40					
4.40	25	25 / 8		50 / 18	>50
4.58					
5.05	8	3	6	17 / 30	17
5.35					
6.10	20	30		50 / 20	>50
6.30					
7.00	50 / 8			50 / 8	>50
7.08					
8.05	50 / 7			50 / 7	>50
8.12					
9.00	50 / 3			50 / 3	>50
9.03					
10.00	50 / 0			50 / 0	>50
10.00					
11.00	50 / 0			50 / 0	>50
11.00					

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						02/05
						02/07
						02/12
						02/13